

宇仁ふれあいバス運行の登録申請について

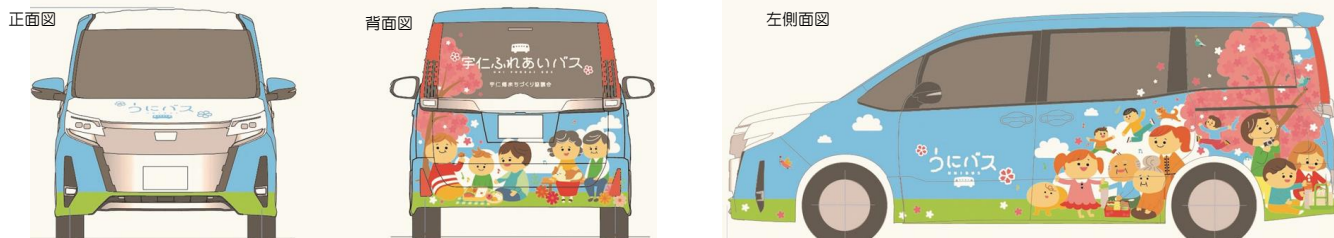
少子高齢化が進み、免許証返納者の増加が見込まれる中、「地区住民の足を守るため送迎バスの導入が不可欠だ」との共通認識からこの事業の検討を始めました。その後、平成28年10月7日の「淡路市視察交流会」を契機として、「地域主体型交通導入」の事業を開始してから、この10月でまる4年となります。

この間3回の他地域視察交流や何十回にも及ぶ検討委員会を重ね、加西市人口増政策課の大きな援助もあって、今年6月29日開催の「加西市公共交通活性化協議会」でようやくバス運行の承認を受けました。

そして7月20日、宇仁郷まちづくり協議会の常峰顧問、稲木会長および加西市役所担当職員2人の合計4人が国土交通省神戸運輸管理部輸送部門を訪ね、富田運輸企画専門官に、宇仁郷まちづくり協議会を代表して稲木会長より、「公共交通空白地有償運送」に関わる登録申請書類を提出したところ、8月17日に登録申請が受理されましたとの報告を受けました。歴代の区長様を始め関係各位には甚大なるご協力を賜り誠にありがとうございました。(事務局)



バスの名前とデザインが決まりました



いよいよ10月1日(木)から宇仁郷まちづくり協議会で試験運行される地域主体型交通の名前「宇仁ふれあいバス」(通称:うにバス・UNIバス)と車体のデザインが決まりました!

各町全戸を対象に名前を募集したところ、応募総数99点の甲乙つけがたい様々なネーミングの応募がありました。また、宇仁小学校の児童へバスのデザインを募集したところ25点の素晴らしい作品が集まり、子ども達は宇仁のさくらやコスモスをいっぱい散りばめ、買い物や病院へ行くのに困っている人達がバスに乗るとワクワクするような明るい絵をたくさん書いてくれました。(中には八王子神社のカッコいいキャラクターをデザインしてくれた児童もいました)

最終的には、選ばれた5点の絵を基にデザイナーが取りまとめ、宇仁地区全体に広がる爽やかな青空の下、笑顔いっぱいあふれるおじいちゃんおばあちゃん、お父さんお母さん、子ども達の三世代がみんな仲良くふれあい、「さくら」と「コスモス」がいっぱいの可愛いバスのラッピングデザインが完成しました。皆さんご協力ありがとうございました。(地域主体型公共交通検討委員会)

コスモスの種まき



ばいかき、約1時間程ですが種まきをみんなで頑張りました。

8月2日(日)は、事前に草刈りをしていただいた県・市・農道に村の役員さんと子供会が3班に別れ、朝からコスモスの種まきをしました。

秋には、宇仁の地域いっぱい咲き誇る色とりどりのきれいなコスモスを楽しみにしながら、子どもも大人も汗をいっ

(青野町子供会)

創意工夫の「淡河町ゾーンバス」

「宇仁ふれあいバス」がいよいよスタートするにあたり、地域交通検討委員会のメンバーを中心に、神戸市北区の淡河地域で運営されている「淡河町ゾーンバス」の視察を7月22日に実施しました。

視察には、宇仁郷まちづくり協議会から10人、加西市の公共交通担当者2人、社会福祉協議会から1人の13人が参加しました。淡河町側でも地域推進協議会の役員やゾーンバスのメンバー、北区の職員の皆さんが対応してくださいました。

神戸市の中でも高齢化率の高い淡河地区で、自主的に交通弱者の足を確保したいという地域に根ざした要求から出発しており、個人所有の自動車の活用をはじめ、自治体の補助に頼らない自主性を強く感じました。

運行内容も利用の申し込みを基本に、平日運行の定路線の他、曜日ごとにグラウンドゴルフ便やデイサービス便など、さらに土日運行として、お食事会便、福祉施設来訪者便など、一回当たり1人300円で地域の皆さんの要望に応えながらフル運行されています。昨年の利用者は、日平均25人の利用だったそうです。

当地域の特徴は、ドライバーは園芸農家や主婦など30代から40代の若い方が多いということです。私たちの定時定点運行方式との違いはありますが、世代を超えて地域を守りたいという淡河地域の情熱は是非学びたいものです。
(地域主体型公共交通検討委員会)



宇仁郷歴史資料館だより

Vol. 2.04 & Vol. 3.02

新刊紹介 (Vol.2.04)

「丹波のむかしばなし」 第一集～第十集

この度、田谷町の井上芳弘さんからご寄贈いただきました児童向けの「丹波のむかしばなし」を紹介します。

文字が大きく、挿絵も入っていて読みやすい本です。是非、子どもさんに読ませてあげて、昔ばなしの面白さを教えてあげてください。

その他、学習漫画(日本の歴史、世界の歴史、日本の伝記、世界の伝記)が揃っています。是非、歴史資料館にお越しいただき、子どもさんにお勧め下さい。



吉田省三記念文庫の開設準備 ① (Vol.3.02)

宇仁郷の田谷町出身吉田省三氏が逝去され、ご遺族の吉田様から約 6,500 冊の文学書・郷土史関係書籍を出身地である宇仁郷に寄贈したいという申し出があり、宇仁郷まちづくり協議会・宇仁郷歴史資料館部会で検討の結果、ご遺族のご好意にお応えすることになりました。

資料館の収納室を改造して吉田省三記念文庫の開設をすることになり、加西市からの補助金他で収納室を改造しました。平成 30 年 2 月、役員・PTAなど 19 人のボランティアが軽トラック延べ 11 台で書籍の入った段ボール箱と書架を資料館に運び込みました。大まかな分類で書架に詰め込んだ書籍の多さと、今後の整理方法の大変さに途方に暮れました。



開館日 毎日曜日9時30分～12時